



建築や家具など人間の生活空間に関わるもののデザインについて、理論と実践の両面から取り組んでいます。前者では、特に昭和期建築家が展開した伝統論などの言説と建築設計を中心とした制作活動の関連について研究し、後者では、建築設計や家具デザインの実践、設計競技（コンペ）への参加を通じて、空間デザインの新たな可能性を模索しています。



教授 羽藤 広輔

東京藝術大学建築科卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修了、安藤忠雄建築研究所、東京藝術大学建築科助教、信州大学助教・准教授を経て、2022年より現職。博士（人間・環境学）、一級建築士。

>> 研究から広がる未来

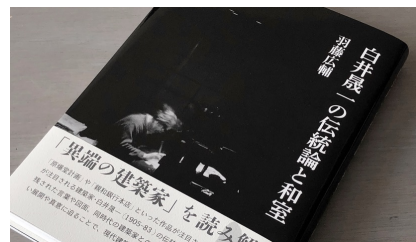
創造の現場において、作者が何を考え、どんなことに影響を受け、それがいかに制作物に反映されたのか、多様な事例が存在します。例えば、昭和期の建築家白井晟一は、晩年、一日の半分を書の手習いに費やし、それが建築の設計にも影響したといえます。自由な発想、独自の視点が、空間デザインの意味やあり方を発展させます。

>> 卒業後の未来像

建築設計事務所やデザイン事務所など、空間デザインに関わる分野での活躍を期待しています。



住宅設計の際に制作したコンセプトモデル／紙芝居として使用することもできるスケール横断的なオブジェクトになっている。



『白井晟一の伝統論と和室』：建築家の言説と作品について考察した。／習書の取り組みについても取り上げた。

>> 私の学問へのきっかけ

小さい頃から絵を描くことが好きだったので、大学ではそれを生かせる建築学科に進みたいと考えました。大学の設計課題では、図面やパースを描いたり、模型を作ったりと、学問というよりは、ものづくりを楽しんでいたように思います。

先鋭融合

建築学

研究キーワード

近代建築史・建築意匠・伝統論・伝統論争・和室・建築家・言説・白井晟一・建築設計・住宅設計・空間デザイン・家具デザイン

研究シーズ

- 建築家の伝統論に関する研究
- 建築家の言説と作品の関連についての研究
- 昭和期建築家による和室の意匠に関する研究
- 戦後近代建築の意匠に関する研究
- 建築空間の構想・デザイン
- 屋内外に設置する家具のデザイン

最近のトピックス



研究室HPアドレス
<https://khatolab.com>



住宅設計の例「試作「紙芝居舞台型」小住宅」生活や環境の状況に呼応して変化する住宅を提案（グッドデザイン賞受賞）

共同研究・外部資金獲得実績

- 「現代日本建築家の言説にみる伝統論の展開」（科研費基盤C）
- 「白井晟一の伝統論と和室」（科研費研究成果公開促進費 学術図書）
- 「書と建築 建築家白井晟一の事例を中心に」（科研費挑戦的萌芽）